

令和 7 年 7 月定例教育委員会会議録

1 日 時

令和 7 年 7 月 2 4 日（木）午後 2 時 0 0 分から午後 2 時 5 2 分まで

2 場 所

唐津市役所 大手口別館 6 階 会議室

3 出席者

(1) 教育長

栗原宣康

(2) 教育委員

宮崎美和、篠原智文、石山貴子、佐伯玄一郎

(3) 事務局

教育部長 中山誠、教育副部長兼教育総務課長 牟田茂典、教育施設課長 森徳雄、学校教育課長 松竹寿郎、学校支援課長 島松鼎祐、学校給食課長 伊藤重継、生涯学習文化財課長 岩尾峯希、近代図書館長 岡田和幸、相知市民センター教育課長 山口浩司、近代図書館係長 吉田清美、教育総務課係長 山崎恵子、教育総務課主査 宮口由佳

4 議 題

(1) 議案

議案第 3 7 号 旧神集島中学校校舎及びプール諸室の用途廃止について

【原案どおり可決】

議案第 3 8 号 令和 7 年度使用教科用図書（一般図書）の採択について

【原案どおり可決】

※非公開（教育の観点から使用の可否を決定するものであり、その過程を公にすることで事業者の競争上の地位、その他正当な利益を害するおそれがあるため）

(2) 協議事項

唐津市図書サービス計画（第2次）（附）唐津市こども読書活動推進計画（第4次）の策定について

(3) 報告事項

① 教育長報告

② 各課報告事項

- ・令和8年1月の唐津市二十歳の祝典の日程について
- ・唐津市二十歳の祝典の会場一本化の検討について
- ・共催及び後援について
- ・教育委員会行事予定

③ その他

【定例会】

午後２時００分 開会を告げる。

栗原教育長は、本日の会議録署名委員として石山委員を指名した。

栗原教育長は、前回の定例会の会議録について会議に諮り、委員会はこれを承認した。

○教育長（栗原宣康君）

それでは、議事に入ります。

まず、会議の非公開についてお諮りします。

議案第３８号については、教育の観点から使用の可否を決定するものであり、その過程を公にすることで事業者の競争上の地位、その他の正当な利益を害するおそれがあるため、非公開としてよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

それでは、この件については公開といたします。

では、議事に入ります。

議案第３７号について、事務局お願いします。

○教育施設課長（森 徳雄君）

教育施設課でございます。議案集第１の１ページをお願いいたします。

議案第３７号 旧神集島中学校校舎及びプール諸室の用途廃止についてでございます。

提案理由でございますが、平成１６年４月１日付で廃止されました旧神集島中学校校舎及びプール諸室につきまして、今年度、解体工事を行いますので、用途廃止を行うものでございます。

２ページをお開きください。

用途廃止をします建物の概要でございますが、中学校校舎は昭和４５年建築の鉄筋コンクリート２階建て、面積は７４３．４１平方メートル。

プール機械室は昭和４９年建築のコンクリートブロック造１階建てで、面積が１５．９７平方メートル。

プール更衣室及び便所は昭和４９年建築のコンクリートブロック造１階建て

で、面積は71.52平方メートルでございます。

中学校校舎の敷地につきましては、佐賀玄海漁業協同組合から借り受けておりますので、解体工事が終了しましたら返却手続を行ってまいります。

3ページに位置図を記載しておりまして、北側に中学校校舎、南側にプール諸室を赤枠で示しております。

4ページに現況写真を添付しております。

5ページと6ページは建物台帳でございます。

説明は以上です。御審議のほどよろしく願いいたします。

○教育長（栗原宣康君）

議案第37号、質問や御意見はございませんか。

○教育委員（篠原智文君）

質問よろしいですか。

○教育長（栗原宣康君）

はい、どうぞ。

○教育委員（篠原智文君）

このプールそのものは、もう既になくなっているんですか。航空写真からは見えないですが。

○教育施設課長（森 徳雄君）

お答えします。

3ページの写真で、プール諸室を赤く示しておりますけど、その下にちょっと土がかぶさっております。その下にプールの本体がございまして、来年度以降、解体のほうを行っていきたいと考えております。

○教育委員（篠原智文君）

もうプールに土をかぶせてあるということですか。

○教育施設課長（森 徳雄君）

はい。別の工事で出た残土を、そこに載せております。

○教育委員（篠原智文君）

そしたら、工事でそのコンクリートの部分は後で壊すと。

○教育施設課長（森 徳雄君）

はい、そのように考えております。

○教育委員（篠原智文君）

分かりました。

○教育長（栗原宣康君）

この４ページの右側の写真でいうと、どっち側にプールがあったんですか。
手前にあったのか、奥にあったのか。

○教育施設課長（森 徳雄君）

この右側の写真の手前側でございます。

○教育長（栗原宣康君）

手前側ですね。

ほかにございませんか。

○教育委員（篠原智文君）

小学校の校舎は、今は何か利用されているんですか。

○教育施設課長（森 徳雄君）

小学校の校舎につきましては地域づくり課のほうに移管しておりまして、そ
ちらのほうで活用されているかと思っております。

○教育委員（篠原智文君）

分かりました。

○教育長（栗原宣康君）

よろしいですか。

○教育委員（篠原智文君）

はい。

○教育長（栗原宣康君）

議案第３７号はよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

それでは、議案第３７号については御承認をいただきました。

協議事項に入ります。

唐津市図書サービス計画（第２次）（附）唐津市こども読書活動推進計画（第４次）の策定について、事務局お願いします。

○近代図書館長（岡田和幸君）

近代図書館でございます。協議事項について御説明申し上げます。

議案集第１の８ページをお願いいたします。

唐津市図書サービス計画（第２次）（附）唐津市こども読書活動推進計画（第４次）の策定についてでございます。

まず、策定の趣旨でございます。

第３次唐津市総合計画の策定に伴いまして、唐津市図書サービス計画と、唐津市子ども読書活動推進計画（第３次）の内容を見直しまして、唐津市図書サービス計画の後に唐津市こども読書活動推進計画を付して一本化するものでございます。

次に、計画の位置づけでございます。

第３次唐津市総合計画の基本計画及び唐津市教育の基本方針を上位計画といたしまして、今後の図書館サービスの施策を計画的に実現するため、図書サービスに特化した計画を策定したものでございます。

計画期間は令和７年度から令和１１年度の５年間としております。

計画の素案についてでございます。

資料の１０ページから４１ページまでを計画の案、４２ページから８６ページまでを現行の計画ということで記載をしておりますけれども、資料が長うございますので、９ページに主な変更点ということで資料をまとめさせていただいております。そちらのほうで御説明いたします。

では、９ページをお願いいたします。

最初に、図書サービス計画の変更点について御説明申し上げます。

図書サービス計画の体系で重点項目を５項目設定しておりましたが、今回の見直しで４項目にまとめております。

内容といたしましては、現行の計画の５項目め、図書サービスのビジョンという項目を記載しておりましたが、今回の計画案では重点項目の１番、生涯学習の拠点としての図書サービスの中に内容を組み込みまして、整理をし

ておるところでございます。

なお、図書サービスビジョンの内容について変更はございません。

次に、拡充サービス、これを3つ追加しております。

まず1つが、電子書籍の導入についてでございます。

電子書籍につきましては、様々な理由で図書館にお見えになれない方を含めて、多くの市民の方が図書館の恩恵を受けるツールとして導入できないかということで検討を進めるものでございます。

2つ目が、広報・情報発信についてでございます。

現在、図書館のホームページや行政放送などで広報活動のほうは行っておりますが、さらに情報発信のツールといたしまして、インスタグラムであるとかX、旧ツイッターですね。こちらのSNSを活用した情報発信を追加しようということで記載しておるところでございます。

最後、3つ目のところでございます。

障がい者、障がい児サービスにマルチメディアデイジーの貸出しの追加をするものでございます。このマルチメディアデイジーとは、音声に合わせて文字と画像を同時に見ることのできるデジタル図書のことでございまして、視覚に障がいをお持ちの方や発達障がいなどの方々へ読書の困難を抱える人たちが有効に読書を楽しんでもらえるようなサービスをしようということが目的でございます。これが追加する、拡充するサービスでございます。

次に、唐津市こども読書活動推進計画について追加をするものでございまして、図書館における読書活動の推進のうち、「多様なこどもたちの読書機会の確保」であるとか、「こどもの視点に立った読書活動の推進」という項目を追加しております。こちらのほうは、国の第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画というのがございまして、そちらの内容を反映させたものでございます。全ての子どもたちが読書活動の恩恵を受けられるよう、図書館においても読書活動を推進するために今回変えておるものでございます。

最後に、表記・表現、字句の整理ということで、2点修正をかけております。

まず、「障がい者サービス」とこれまで書いておったところなんですけれども、市の福祉計画であるとか総合計画という計画の中で、「障がい者」の後

に「（児）」を付け加えるのが本市の計画の主な流れでございますので、内容のほうを字句の整理という形で全て統一させていただいております。

もう一つが、「子ども」の「子」という字でございます。こちらも同様に、本市の福祉のほうの計画の表現と合わせて、平仮名の「こ」ということで変更をかけておるところでございます。

なお、正式な法律の名称であるとか、漢字の「子」を使われているものにつきましてはそのまま漢字の「子」という表記のままに表現をしておるところでございます。

詳細につきましては、本日添付させていただいております計画案を御覧いただければと考えております。

簡単ではございますけれども、説明は以上でございます。御協議のほどよろしくお願いいたします。

○教育長（栗原宣康君）

唐津市図書サービス計画（第2次）唐津市図書サービス計画（附）唐津市子ども読書活動推進計画（第4次）の策定について、質問や御意見はございませんか。

○教育委員（篠原智文君）

特になければ私のほうから。

○教育長（栗原宣康君）

篠原委員さんお願いします。

○教育委員（篠原智文君）

唐津市の子どもたちの読書活動の充実ということについては、大切なことだと私も考えておりますが、この資料の中にグラフの資料が、いろいろ調査されて、35ページに、「1ヶ月間に1冊も本を読まなかった人の割合」というのが載っていますが、ほかの文書にも書いてありますが、中学生の読書離れが進んできているということで、ここでも年を追うごとに割合が高くなって、令和6年には3割弱が一切読まないと、1冊も読まないということで載っているわけですが、それ以後も、さらにこの数字が大きくなっている可能性が大きいのかなと思うんですが、この文書の中にも、例えば、30ページの中に「唐津市

の学校では、多くの小学校・中学校において全校一斉の読書活動（朝読書）などが実施されています。」ということで、これが着実に実施されていれば、先ほどのアンケートは減るのかなとは思いますが。

それで、朝読は非常に効果があるということで、その支援策として28ページに、K i n t o もあブック、朝読書の充実のための学習支援用の図書セットというのを、読書活動の推進の一環として整備すると書いてありますが、これは現状としてはどのような整備状況になっているのか、分かる範囲で結構ですので。

○近代図書館長（岡田和幸君）

お答えいたします。

各学年ごとに学校の図書司書の方々とお話をさせていただきながら、どういう本が必要なのかということ、利用者のニーズを把握した上で、県立図書館等と協議をしながら必要な本を調達いたしまして、学校のほうに配本をしているところでございます。

以上でございます。

○教育委員（篠原智文君）

私も、実は担任をしていた頃には朝読をクラスの子どもに取り組ませたんですけど、これは年齢にかかわらず、読書習慣をいかに子どもたちに身につけるかという中で、中学生、小学生も同様ですが、非常に効果が高いと。

家では小さい頃、親の読み聞かせとか、家読（うちどく）とか、そういうのが非常に効果があると思うんですが、中学生ぐらいになるとやはり部活等も含めて忙しくて、勉強の時間とかいろいろあって読書の時間を割けない。今はインターネットもあるからそっちのほうに興味が行くので、できるだけ読書の時間を、ある意味強制的にでも短時間取ってあげるとするのは、クラスの雰囲気も非常に落ち着くし、本に対する興味も非常に伸びてくるので、ぜひ各学校で普及するように推進して、図書館のほうでもそれをぜひ支援を強化していただけたらなと願っております。

○近代図書館長（岡田和幸君）

ありがとうございました。

○教育長（栗原宣康君）

ほかに御意見はございませんか。石山委員。

○教育委員（石山貴子君）

29ページの公民館における読書活動の推進のところで、呼子公民館では、放課後子ども教室の活動に近代図書館から来ていただいて読み聞かせをさせていただいています。子どもたちにも大変好評で、いい企画だなと思っております。

写真に呼子公民館が載っておりますが、唐津市に25ある公民館のうち、ほかに行かれている公民館はありますか。

○近代図書館長（岡田和幸君）

公民館は、先ほど紹介された呼子公民館だけ行っている状況でございます。今後、唐津市図書サービス計画にも書いてございます、分室化ということを目指しておりますので、特に分室化をしようとする場所、例えば、浜玉であるだとか相知、こちらのほうを重点的に対応することで、我々の活動がさらによいものになろうということで取組をさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

○教育委員（石山貴子君）

推進ということですので、ぜひ広がっていったらと思います。

○教育長（栗原宣康君）

ほかにございませんか。

○教育委員（宮崎美和君）

関連していいですか。

○教育長（栗原宣康君）

はい、どうぞ。

○教育委員（宮崎美和君）

公民館の活動とか読み聞かせとかを充実させていくということですけど、それには司書さんの人数も結構必要かと思います。その辺、足りているかどうか、司書さんの配置とかはどんなふうですか。

○近代図書館長（岡田和幸君）

お答えいたします。

御質問にございました司書の配置についてでございます。

浜玉については司書の資格をお持ちの事務職員がいらっしゃるということでしております。ただ、呼子はまだ今配置ができていないということで、今後、相知図書館を分室化いたしまして、南部分室ということで計画をしております。今、相知図書館に司書を数名配置しておりますけれども、その人員を分室化する施設のほうに分散して配置することで、分室には司書がいる、という形を取っていきたいと考えております。

○教育長（栗原宣康君）

この図書サービス計画は、随分早くから今の形で計画をしておったんですけど、相知図書館の移転が確立してからということで、その間、当初の案からその実現まではちょっと時間がかかっているという形でございます。

○教育委員（宮崎美和君）

浜玉も司書さんが来られて以降、随分違うようです。さすが専門の知識を持ってある方は違うなど。

○教育長（栗原宣康君）

先ほど篠原委員さんから御指摘があった学校での読書活動の推進ですが、朝読書は大変効果があって、学校では一定の時間を確保されて継続をされていると思っております。

それから、読み聞かせが、このアンケートの結果でいきますと、実は令和6年になって、中学校では読み聞かせの割合がちょっと下がったのかなというところが少しあるように思いますが、そのほかのアンケートの中で、37ページ、毎日インターネットを利用する人の割合が、小学校2年生、5年生、中学2年生とも、この平成25年、平成31年、令和6年と、ものすごい勢いで率が上がっているので、ここに時間を奪われているところが課題であるのかなというのが、やっぱり大きな懸念として考えられるんだと思います。やっぱりこの時間を減らして、読書活動に家で子どもたちが時間を確保できるような取組が学校でも必要かなと改めて思うところです。

そしたら、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

ありがとうございました。

それでは、報告事項に入ります。

まずは教育長報告です。別紙を御覧ください。

6月30日月曜日から7月4日までの月曜日から金曜日の1週間、「あすチャレ！スクール」ということで、日本財団パラサポの事業で、根本慎志さんがまた今年も来てくださいました。5年目です。

今回は、中学校4校、小学校1校ということで中学校から多くの希望がありましたけれども、私も参加をいたしました。とても子どもたちは熱心にこの講話、そして実技を体験して、いい機会を得ておりました。

2つ目です。

11日に1学期最後の学校訪問、御参加ありがとうございました。1学期の学校訪問が8校でした。そして、2学期の訪問校が13校で、今年は21校の学校訪問となります。8月の下旬から学校訪問をまた再開いたしますので、委員の皆様方には、またどうぞよろしくお願いいたします。

それでは次に、各課報告事項に参ります。

令和8年1月の唐津市二十歳の祝典の日程について、事務局お願いします。

○生涯学習文化財課長（岩尾峯希君）

生涯学習文化財課でございます。議案集第1の87ページを御覧ください。

令和8年唐津市二十歳の祝典日程及び会場についての御報告でございます。

今年の4月に市民センターの教育の事務が全部本庁に集約されたところではございますが、令和8年1月開催の二十歳の祝典につきましては例年どおり、例年の日程、会場を踏襲した形で開催するように今、事務を進めているところでございます。

まず、1月5日月曜日に鎮西・呼子会場と肥前会場、10日土曜日に七山会場、浜玉会場、厳木会場、相知会場と北波多会場でございます。それと、11日日曜日が唐津会場ということで、例年を踏襲した形で開催したいということで事務を進めているところでございます。

続けて、報告2のほうも御説明させていただいてよろしいでしょうか。

○教育長（栗原宣康君）

はい、どうぞ。

○生涯学習文化財課長（岩尾峯希君）

令和８年１月の二十歳の祝典につきましては、今申し上げたとおり例年を踏襲した形で８会場で開催するように事務を進めているところでございますが、今年の１月開催後にも幾つかお声をいただいたところなんです、会場を一本化できないかというふうな声を、参加者や来年以降に二十歳の祝典を迎えられる方からもそういう声を寄せられたところでもございまして、二十歳の祝典の会場一本化について検討を始めたいと考えているところでございます。

８８ページに、概要を掲載してございます。

一本化のイメージとしては、現在８会場で行っている二十歳の祝典を唐津会場に一本化ということを検討しております。

その狙いといましては、市の一体感の演出、それから、各会場間でそれぞれ独自に開催されていまして、内容の不均衡というところがございましたので、それを解消するというのがございます。それと、今も唐津東中、それから早稲田中などに通っているお子さんたちもいらっしゃいますので、中学校単位での会場の設定というのがなかなか現実に即していないのではないかとこのところがございます。

次のページ、８９ページを御覧ください。

今後の検討の進め方、スケジュールについて掲載しております。

まず、７月に社会教育委員会、それと本日、定例教育委員会にて一本化を目指す検討をするということについての御報告をさせていただいたところですが、今年中に高校生に向けたアンケートを実施する予定でございます。一本化について賛成するか、反対するかというところのアンケートを実施予定です。

また、令和８年１月に開催する二十歳の式典本番中にやはりアンケートを実施いたしまして、そちらの両方のアンケートを集計した上で、令和８年中に社会教育委員会及び定例教育委員会において一本化についての協議をさせていただきたいと考えているところでございます。

早ければ、令和９年１月開催分から一本化したいというふうに考えていると

ころでございます。

報告については以上でございます。

○教育長（栗原宣康君）

令和８年中に一本化について協議、承認等をして、令和９年１月開催分から一本化ということ。

○生涯学習文化財課長（岩尾峯希君）

はい。早ければ、そういうふうに進めたいと思っております。

○教育長（栗原宣康君）

それだと、令和８年中のかなり早い時期でないと難しいね。

○生涯学習文化財課長（岩尾峯希君）

そうですね、はい。

○教育委員（宮崎美和君）

ということは、この１回のアンケートで決まってくるというところなんですか、今年度の二十歳の意見…

○教育長（栗原宣康君）

そうですね。

○教育委員（宮崎美和君）

去年だったか、アンケートを行ったけど、皆さんに知られていなかったということがあったじゃないですか。何かの……

○教育長（栗原宣康君）

前回、アンケートをしましたか。

○教育委員（宮崎美和君）

この件についてではないです。前々回ですね。

○教育委員（石山貴子君）

ひとつくり計画のですね。

○生涯学習文化財課長（岩尾峯希君）

そうですね、はい。

○教育委員（石山貴子君）

関連したアンケートだったんですけれども、市民センターのほうには情報が

届いていなくて、回答率が少なかったということです。この式典本番中にというのがやっぱりみそですよ。

○教育委員（宮崎美和君）

事前に何か周知して、ぜひとも答えていただかないといけないですね。今年の二十歳の祝典参加者の意見が結構反映されると思います。

○生涯学習文化財課長（岩尾峯希君）

式典本番中にするアンケートについても、その周知の方法というところはちょっと検討したいと思います。

加えて、高校生向けですね。これから二十歳の祝典を迎える高校生たちにもアンケートを取りたいと考えていますので、その2つを併せて検討したいと思っています。

○教育長（栗原宣康君）

今年、浜玉地区の二十歳の祝典では初めて、浜玉中学校の先生だけでなく唐津東中学校の先生を呼ばれてお一人来られたという、浜玉でも初めてだったと宮崎委員さんに聞きましたけれども。

○教育委員（宮崎美和君）

はい、初めてでした。なぜかといったら、浜玉中学校の卒業生の方ばかりじゃないという理由で。唐津東中の担任の先生、全員呼ばれていたみたいですけど、来られたのはお一人の先生です。お一人の先生が御挨拶されました。

それまでは、地域の浜玉中学校の担任の先生が3人来られてというのが当たり前だったのですが、よく考えたらそうですよね、厳密に言えば早稲田佐賀中学校を卒業した生徒さんもいるかもしれないなと思いました。

○教育長（栗原宣康君）

篠原委員、どうぞ。

○教育委員（篠原智文君）

早稲田佐賀の生徒たち、高校を卒業した後、ほとんど唐津を離れると思うんですが、その子たちはこの祝典にはほとんど参加しないということですかね、住民票を当然移すので。

○生涯学習文化財課長（岩尾峯希君）

そうですね、早稲田中・高に通っている、もともと唐津出身じゃない生徒については、唐津の二十歳の祝典に参加するということはあまりないのかなと思っています。

○教育長（栗原宣康君）

もともと唐津出身の早稲田に行った子は参加していることはあるかなと思うんですけどね。

○教育委員（篠原智文君）

細かいことですけど、早稲田の高校生にもアンケートを取るんですか。唐津出身の人は全然問題ないんですが。

○生涯学習文化財課長（岩尾峯希君）

早稲田に通っている生徒全員に取るかというところは、まだ考えておりませんでした。

○教育委員（佐伯玄一郎君）

よろしいですか。

○教育長（栗原宣康君）

はい、どうぞ。

○教育委員（佐伯玄一郎君）

起承転結でいうと、スタートが「結」から始まっているんですけど、起承の「起」の部分で、資料に4つ一本化の狙いが書いてあるんですけど、実際には本当はもっと違うこともあるんじゃないかなと。例えば、今まで市民センターに置いてあった業務が本庁に集約したというところで、そういうことがあったので持ってきたりとか、いろんな会場の設営とかが大変なので、何かそういった理由もひょっとしたらあるんじゃないかなと思うんですけど。一部の方からの声が出たのでこうしますという、どこがスタートなのかなというのがすごく気になってですね。

○生涯学習文化財課長（岩尾峯希君）

検討のスタートにつきましては、やはり幾つかそういう市民の意見箱とか、ウェブでも一本化したほうがいいんじゃないかという声をいただいた、ま

た、現場でもそういうお声をいただくことが最近多いというところが検討の出発点です。

○教育委員（佐伯玄一郎君）

では、例えば、87ページに会場があつて、開始時間がございます。これが全部1つのところでスタートするとなると、様々なところに暮らしていらっしゃる方々の、例えば、女性の祝典参加者にすると、美容室の準備があつたりとか、着物の準備があつたりとかですね。それが各地区の、そのところに構えていらっしゃる、例えば、美容室の方々とかが、これに賛成されているのか。唐津市内だけでそれが対応できるのかどうか。いろんなことを考えてあげないと、確かに、1か所に集まってするのは非常に楽しくて、高校を卒業した後すぐ2年後に会えるということで、スパンも短いので、彼らにとってはすごくいいことかもしれないんですけど、唐津市の全体的なことを考えてあげると、もっといろんな人の意見を聞いてあげたりとか、それに対応できるものがあるのかどうかというところまでお調べしていただいてされたほうがいいのかなというのが実際、私の意見です。

○生涯学習文化財課長（岩尾峯希君）

今、御意見をいただいたとおり、以前まだ成人式時代に、日程が、どうしてもやむを得ず動かないといけなくなつたときに、やはり理美容協会とか貸衣装屋さんの組合とか、そういったところからの反発が大きかったという話は以前の担当からも聞いているところです。

ですから、まずは、実際に参加する二十歳をこれから迎えらるる高校生の方たちの声を聞いた上で、そういったところとの調整になってくるかというふうに考えております。

○教育委員（佐伯玄一郎君）

地域の方、区長会とかの意見等もお聞きになられて、いろいろとそれまで会場を支えてこられた方々がたくさんおられますので、1回だけのアンケートで決まってしまうというのが非常に危ないかなというところがございます。アンケートの回答率だつたりとか、対象というのは慎重にぜひ実施をいただければと思います。

以上です。

○教育部長（中山 誠君）

私からよろしいでしょうか。

○教育長（栗原宣康君）

はい。

○教育部長（中山 誠君）

岩尾課長のほうからお答えしましたけど、そもそも市内部で合併20年を迎えてというところで、一体感の醸成のためにもそろそろ一つにするべきではないのかというオファーがずっとあっていたことは事実です。

その中で、佐伯委員がおっしゃったとおり、各市民センターから職員を引き揚げ、業務を集約してということも後から出てきました。そういったことを総合的に考えて、やっぱり市の対応として1か所にすべきではないかと。

当然、先ほど課長のほうから答弁しましたとおり、市民の御意見もありました。ただ、まずもって起点は、市内部で、そろそろ合併20年の節目で1つにすることを考えるべきではないのかというのが発端です。

それと、アンケートだけでというお話がありましたけれども、実際この検討というのは以前から市内部でさせていただいています。市民センターの職員に聞く、それから、今ほどおっしゃった、関わっていらっしゃる地域の方に市民センターのほうから確認してもらうというところで、内部での情報収集等は行っております。ただ、当の本人、実際参加された、あるいは今から参加される人たちがどういう考えを持っておるのかというのだけはまだ確認が取れていませんので、それについて本年中、あるいは来年の二十歳の祝典当日というところでアンケートを取らせていただきたいと思いますと思っております。

この結果がどうだったということについては、教育委員会にもお示しして、その上でどうさせていただくかということを協議させていただきますし、何より社会教育委員会のほうでも今まで何回かこのお話をさせていただいていますので、アンケートの結果をもって協議という形で考えております。

アンケートの結果が集約にしろ、分散にしろ、それだけをもって方向性を決めるということではなく、その場その場で、適宜協議をさせていただくというふ

うに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○教育長（栗原宣康君）

よろしいですか。

これについては本当にいろんなところから意見が出ておりますけれども、御自身が経験されたところ、それから、御自身が関わられたところで、大分それぞれの印象が違うんですよね。ですので、なかなかすり合わせていくというのが難しいところがあるなとずっと思っていますね。

ただ、ひとまず検討をするというところで、アンケートという動きを起こすということについてはよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

それでは、共催、後援について教育総務課お願いいたします。

○教育副部長兼教育総務課長（牟田茂典君）

教育総務課です。議案集第1の90ページをお願いいたします。

共催及び後援につきましては、共催2件、後援15件の合計17件でございます。

行事名及び主催者名は一覧表を御確認いただきたいと思います。

以上でございます。

○教育長（栗原宣康君）

では、教育委員会の行事についてお願いします。

○教育副部長兼教育総務課長（牟田茂典君）

教育総務課です。議案集第1の91ページをお願いいたします。

令和7年7月25日金曜日から8月27日水曜日までの主な行事予定でございます。

まず、7月31日木曜日、JAPAN GAMES JUNIOR&YOUTH 2025 SAGA開会式。

8月1日金曜日、西部地区市町教育委員会連合会研修会は、教育長と篠原委員、宮崎委員、石山委員が出席の予定でございます。

8月3日日曜日、第18回唐津市民種目別スポーツ大会表彰式。

8月18日月曜日、佐賀県市町教育委員会連合会第2回役員会は、教育長と篠原委員の出席でございます。

8月20日水曜日、第51回九州地区人権・同和教育夏期講座。

8月21日、22日、長崎県大村市で開催されます九州地区市町村教育委員会連合会研修大会は、教育長と篠原委員、宮崎委員が出席の予定でございます。

8月25日月曜日、県・市町教育長意見交換会。

その他の行事につきましては一覧表に記載しておりますので、御確認いただきたいと思います。

以上でございます。

○教育長（栗原宣康君）

その他、報告事項はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

では、次回の定例教育委員会は8月28日木曜日、時間は14時から、場所は大手口別館6階、こちらの会議室で開催させていただこうと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

恐らく、その日は総合教育会議が16時から併せて計画させていただくことになるかと思います。

8月28日14時定例教育委員会、16時総合教育会議ということでよろしく願いいたします。

公開の審議は終了いたしました。

【非公開審議】

- ・議案第38号 令和7年度使用教科用図書（一般図書）の採択について

学校教育課長が説明した。

議案第38号は原案通り可決された。

○教育長（栗原宣康君）

本日の議事全てを終了しました。

これで本日の議事は全て終了いたしました。

これをもちまして7月の定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。